

# バウムテストとS-HTP法 事例研修

バウムテストとS-HTP法は、臨床現場で最も活用されている描画法と言えるでしょう。紙と鉛筆と消しゴムがあれば簡単に実施できるにも関わらず、その結果からは、クライアントの心の内に秘めた心情や、隠された深層心理など、実に多くの情報を読み取ることが出来るため、病院から教育現場、福祉領域から司法まで、幅広い臨床現場で実施されています。

また、S-HTP法は、自己像や自己イメージを反映するバウムテストに加え、さらに家と木と人の相互関係の中に、家庭像や自己と外界の関係性がより鮮明に投影されるため、より多様なクライアントのアセスメントが可能となります。

本講座は、前回の初級講座の続編として、バウムテストとS-HTPの解釈基礎とともに、実際の事例を通して、どのようにクライアント理解を深めていくかについて学びます。事例をお持ちの方はぜひご持参ください。

日時：2016年11月20日（日）14:00～17:00

場所：西部池袋線石神井公園駅周辺の会場

講師：宇津木 孝正（臨床心理士）

参加資格：臨床心理士、相談員など

参加費：4000円（資料代含む）

申込：先着順 10名

（参加希望者が4名以内の場合、開催を見合わせる場合があります）



ゾンディ心理学研究所

